

あさぎり町子育てゆめぷらんの評価の概要

令和2年3月に子育て支援事業を総合的に推進するため、「子ども・子育て支援事業計画、次世代育成支援行動計画、子どもの貧困対策計画」を一体的に策定した「子育てゆめぷらん」（令和2年度～令和6年度）を作成しました。

現在、町では本計画に基づき、各種事業を行い子育て支援に取り組んでいるところです。

役場各担当課と社会福祉協議会が効果を把握し、自ら評価を行い、その結果を公表することは施策を的確に遂行する上で重要です。このことから、あさぎり町で実施している事業の実施状況を評価し今後の子育て支援に生かすとともに、町民の皆様への説明責任を果たすため、事業の実施状況についてまとめました。

評価の対象は、令和4年度「子育てゆめぷらん」に係る事業です。

（1）評価

実績を計上し、達成状況や課題及び今後の方向性、課題への対応策、次期計画への取り組みの方向性を一覧表として作成しました。

（2）評価に対する意見の聴取

評価の客観性を確保するため、子ども・子育て支援事業計画策定部会で以下のようなご意見、ご助言をいただきました。

- ・「ホッと館」の利用が増えているが、コロナやインフルエンザの受け入れは可能なのか。
- ・産科の医師が減少しており、安心して子どもを産める環境が整っていないことは大きな課題であり、町としての取り組みはどうなっているのか。
- ・子どもが少なくなっており、帰宅が1人になる子どもが増えている。防犯のための見守りについて何か良い方策はないのか。
- ・現在の学校や子ども達を取り巻く環境は、子ども達の環境として良いのかと感じる。（部活動の廃止、運動場の遊具撤去等）
- ・学校のプールの機械や体育館の老朽化を感じる。今後どのように考えているのか。
- ・街灯が少ないと感じる。声掛け事案も増えているため増やせないか。また防犯カメラ増やしてもらえないか。